随 想

イランから来ました

ソヘイラ ハガグ

HAGAGOO JAHROMI SOHEILA

1990年に主人が日本へ留学していましたから、2年前ですがわたしと子どもも日本にまいりました。そのときわたしは、イランのシラス大学の修士の学生でした。日本でろんぶんを書いて、くにへかえってはっぴょうして分析化学の修士をとって、また日本へまいりました。

わたしは中学生のときから日本のしぜんとぶんかがすきでした。れきしの本で日本のたても（じんじゃとかおてらとか）をみたとき、しょうらい日本へりょこうしなければならぬとおもっていました。でもそのときいまのじょうたいをぜんぜんかんがえていませんでした。いまも日本にいますので、ちかいところから日本のひとびとをみたり、いっしょにせいかつしたりたのしいです。日本のこくみんはよくはたらいています。自分の国をいっしょけんめいよくしようどりよくしています。国のテクノロジーをだんだんあげていきます。これをぜんぶみたら、ここでべんきょうするほうがいいとおもっていましたので、名古屋大学医学部のにゅうがくしけんをうけてごうかくしました。いま大学院一ねんせいです。

研究は Positron Emission Tomography のところで、くすりをあたらしい method でつくりたいとおもいます。

自分のすきなことなんですけれど、わたしは、おんがくとスポーツと子どもをこうえんへつれていくことがだいすきです。

わたしはくにへかえっても、いつまでも日本のいろいろなたのしいことをすべてわすれないでしょう。

(名古屋大学医学部大学院生)